

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11103	4	前期	選択	3	75
授業科目名 (英文)	公衆衛生看護援助論Ⅲ(公衆衛生看護展開論) (Public Health Nursing Ⅲ)				
担当教員名	○渡會睦子／佐々木美奈子／山本由加里／氏原将奈				
授業の概要及び到達目標					
<p>【授業の概要】 公衆衛生看護学技術の基本である、地域診断、健康診査、家庭訪問、健康教育について、演習を交えながら実践的に学ぶ。家庭訪問や当事者グループ・地域組織支援など横断的かつ継続的に個人や家族および集団と組織を支援する方法や、地域健康危機管理体制の整備についても学び、常に社会情勢を踏まえて的確に健康問題を捉え、専門家として問題を解決・改善していくための方法を学ぶ。公衆衛生看護学実習に必要となる技術習得をめざし、4月、9月に集中開講し、下記を到達目標とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域診断に必要な情報やデータを収集し、地域の状況や健康課題をとらえ、説明・記述できる。 ・ 健康課題を解決するための効果的な施策や、保健事業の根拠とプロセスを理解し、事業概要にまとめ説明できる。 ・ 新生児家庭訪問における対象者や対象者を取り巻く政策・施策等を、十分に理解した上で新生児家庭訪問計画案を作成し、ロールプレイを実践できる。 ・ 健康教育テーマに沿って、健康教育実施計画案を十分検討した上で、シナリオ、媒体の作成を計画ののっとり作成できる。 ・ 実習施設内外の連携や地域との関係機関との連携について理解し、連携の必要性およびネットワークの構築の過程を理解し、説明・記述できる。 ・ 健康危機管理に対する組織的な管理体制、及び地域における連携システム構築について説明・記述できる。 ・ 公衆衛生看護学実習の行動目標、実習内容、学習方法を理解し、事前学習に臨むことができる。 					
準備学習等					
<p>下記を事前学習課題とする。準備学習は各回3時間程度とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆衛生看護援助論Ⅰ～Ⅱ・地域保健活動演習・保健指導演習の学習内容を復習する。 ・ 各自が実習区の地域診断を行う。 ・ 各自が実習期間中に参加予定の事業について、その法的根拠・目的・保健師の役割を保健事業概要にまとめる。 ・ 各自が指定する新生児訪問事例について訪問計画をたてる。 ・ 指定する内容について健康教育案を作成する(計画作成、シナリオ作成、媒体作成)。 					
成績評価の方法	学修の評価は参加態度 30%、発表・ロールプレイ 50%、提出物 20%を参考に総合して行う。				
テキスト	「看護師のための地域看護学」(豊島泰子：ピラールプレス)(1年次購入) 「公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術」(佐伯和子：医歯薬出版) 「公衆衛生看護学テキスト3 公衆衛生看護活動Ⅰ」(岡本玲子：医歯薬出版)(2年次購入) 「公衆衛生看護学テキスト4 公衆衛生看護活動Ⅱ」(荒木田美香子：医歯				

	薬出版) 「国民衛生の動向」(厚生統計協会)(1年次購入)		
参考図書	「公衆衛生マニュアル」(柳川洋他編:青山堂) ※ 「保健師業務要覧 第2版」(日本看護協会保健師職能委員会監修:日本看護協会出版会) ※ 健康日本21(http://www.kenkounippon21.gr.jp/) 健やか親子21(http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/) 各実習自治体の基本計画・総合実施計画(健康づくり計画、次世代育成支援計画、介護保険事業計画など)※		
備考	本科目の受講にあたっては、公衆衛生看護援助論Ⅰ～Ⅱ・地域保健活動演習・保健指導演習の履修が前提となる。必修科目の再履修・原級留め置き・仮進級・休学となった者は本科目を履修することはできない。 各教員のオフィスアワーについては履修案内「オフィスアワー」の項を参照ください。卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 下記演習3・9・14・15に提出する成果物は、添削後返却しますので、以降の振り返り学修に活用する等よく復習してください。		
授 業 計 画			
(4月中に集中開講する)			
講義1	地域診断	地域診断の理解	(渡會)
	演習1	地域診断 情報収集	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習2	地域診断 アセスメント 考察	(渡會・佐々木・山本・氏原)
講義2	保健事業	事業と法的根拠、保健師の役割等の記載方法の理解	(渡會)
	演習3	保健事業 保健事業概要の作成訂正	(渡會・佐々木・山本・氏原)
講義3	健康診査	健康診査の流れ、保健師の役割などの理解	(渡會)
	演習4	地域診断 考察 健康課題抽出 地区踏査	(渡會・佐々木・山本・氏原)
講義4	家庭訪問	新生児訪問の流れ、保健師の役割などの理解	(渡會)
	演習5	家庭訪問 新生児訪問のロールプレイ評価	(渡會)
講義5	災害対策	災害対策の理解	(渡會)
	演習6	災害対策 災害対策演習 ロールプレイ	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習7	地域診断 健康課題と既存の政策	(渡會・佐々木・山本・氏原)
講義6	感染症対策	感染症対策の理解	(渡會)
	演習8	感染症対策 N95 マスクフィットテスト実践	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習9	地域診断 地域診断 学内発表(1回目)評価	(渡會・佐々木・山本・氏原)
(9月中に集中開講する)			
講義7	記録	目標・日程表等の理解と作成	(渡會)
講義8	健康教育	健康教育の理解	(渡會)
	演習10	健康教育 健康教育案1の作成	(渡會・佐々木・山本・氏原)
		地域診断 健康課題について、アセスメント 考察 計画案の作成	
	演習11	家庭訪問・健康教育 実践	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習12	保健事業 日程表に沿った保健事業概要の作成	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習13	健康教育 健康教育案1・2、媒体の作成	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習14	健康教育 学内発表会 評価	(渡會・佐々木・山本・氏原)
	演習15	地域診断 学内発表会(2回目) 評価 修正	(渡會・佐々木・山本・氏原)
*授業の進捗度・理解度により変更する場合もある			